プレスリリース

報道関係各位　　令和 4 年 3 月 11 日

「遠山椿吉記念　食と環境の科学賞」募集

食品の安全、食品衛生、食品の機能、食品媒介の感染症・疾患、生活環境衛生
に関する研究論文を公募
副賞賞金 300 万円を贈呈　令和 4 年 6 月末日締切

「遠山椿吉記念　食と環境の科学賞」募集について：

今年度の重点課題は、「食品の安全」「食品衛生」「食品の機能」「食品媒介の感染症・疾患」「生活環境衛生」に関わる研究です。

食品の安全　たとえば、食品媒介微生物、残留化学物質、天然有毒・有害物質、食品添加物、食物アレルギー、器具・容器包装などに関する調査研究やこれらの分析法の開発、食品中の放射能汚染など、食品の安全に関わるものなど。

食品の機能　たとえば、食品の機能性成分に関する研究や、これらの分析方法の開発など。

生活環境衛生　たとえば、シックハウス、アスベストやダニ、カビなど室内環境、大気汚染、ビル衛生、飲料水の安全性、水と感染症の問題など。

＊ 対　　象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
＊ 応募書類：所定の応募･推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文
＊ 応募期間：令和 4 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効）
＊ 副　　賞：賞金 300 万円

※ 優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる 40 歳以下の応募者（応募年の 4 月 1 日現在）に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰します。副賞：賞金 100 万円。
山田和江賞の受賞は将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。
※ 原則として最近の業績を評価対象とします。業績とは、原則として過去 10 年以内に発表された原著論文とします。
※ 遠山椿吉賞選考委員会において選考の上受賞候補者 1 件を採択し、10 月に発表します。
授賞式および記念講演、レセプションは、令和 5 年 2 月 7 日(火)に開催の予定。

詳しくは、一般財団法人東京顕微鏡院ホームページ https://www.kenko-kenbi.or.jp/　をご覧ください。

本賞の趣旨：

日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で、地道に社会への貢献を追求する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞と位置づけています。創立者　　生誕 150 年を記念し、平成 20 年に創設。

遠山椿吉とは：

遠山椿吉は、明治時代に、日本で初めて臨床検査の民間専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、人々のいのちを守るため公衆衛生に力を尽くした細菌学者・医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、東京に安全な水道水の供給を実現して伝染病予防に努め、予防医療を提唱し健康診査や衛生指導を実施しました。

臨床検査、飲料水等の検査、顕微鏡技術者養成、顕微鏡検定、学会誌発行などを展開するとともに、市民に対する啓発活動に努めました。

明治 41 年ロベルト･コッホ博士来日の折は、コッホ博士、北里柴三郎博士を招いて「生花の会」を催し、共にひと時を過ごしています。

報道機関からのお問い合わせ先：
一般財団法人東京顕微鏡院　公益事業室　担当　飯島、八木
TEL:03-5210-6651　メール：kouhou@kenko-kenbi.or.jp
ホームページ：https://www.kenko-kenbi.or.jp/　https://www.genkiplaza.or.jp/

遠山椿吉賞について

創立者遠山椿吉、生誕 150 年没後 80 年である平成 20 年度に創設し、「食と環境の科学」部門、「健康予防医療」部門を、隔年で選考顕彰しています。

目的：

遠山椿吉賞は、公衆衛生の領域で、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で優秀な業績をあげた個人または研究グループを顕彰し、公衆衛生の領域での学術向上に寄与することを目的とします。

遠山椿吉記念　第 8 回　食と環境の科学賞　募集要項

対象	日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
選考条件	原則として最近の業績（調査、研究、技術の開発など）を評価対象とする。 • 業績とは、原則として過去 10 年以内に発表された原著論文とし、それに準ずる活動報告書の添付も可能とする。※論文は利益相反が開示されているもの。 • 既に他の顕彰などの対象となったものは、選考資料として採用しない。 • 授賞業績の要旨を両法人発行の広報誌に掲載し、記念講演を行う。記念講演の講演録を発表する権利は、一般財団法人東京顕微鏡院に帰属する。 • 遠山椿吉賞の応募・受賞は年齢の制限を設けない。 • 優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる 40 歳以下の応募者（応募年の 4 月 1 日現在）に対し、研究の更なる発展を奨励する目的で「山田和江賞」を設け、顕彰する。山田和江賞の受賞は将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではない。
選考基準	以下の 4 点で総合評価する。 1．公衆衛生への貢献度 2．研究・技術の独自性 3．技術の普及の可能性 4．社会へのインパクト
申込み	公募によるものとし、関係学会、団体等の推薦または本人の申請による。 所定の応募･推薦用紙に、候補者略歴（受賞歴があれば明記）と業績一覧、原著論文を添付のうえ、期限内に申し込む。
応募期間	令和 4 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効） ※選考結果の個別のご案内は行っておりません。
応募と選考の流れ	①自薦または学識者からの推薦を受けて、所定の用紙に記載のうえ、論文または活動報告書等書類を添付して、事務局宛郵送。 ②選考委員会において選考の上受賞候補者を採択し、10 月に両法人合同の経営会議の承認を経て受賞者を決定。 ③受賞者は、令和 5 年 2 月 7 日に予定される授賞式に出席し、記念講演を行うこととする。
賞および副賞	遠山椿吉賞本賞：賞状、記念品。副賞として 300 万円。 山田和江賞：賞状、記念品。副賞として 100 万円。
提出先	〒102-8288 東京都千代田区九段南 4-8-32 一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室「遠山椿吉賞」運営事務局 宛

遠山椿吉賞　歴代受賞者一覧：
食と環境の科学賞

※所属は授賞当時　敬称略

	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　奨励賞
第 1 回 (平成 20 年度)	ノロウイルスによる食中毒の発生要因の解明と予防策の樹立に関する研究 **西尾 治** 国立感染症研究所 感染症情報センター　研究員	食品衛生微生物の簡易迅速検査法の開発と有効性の評価、食品衛生向上手法の開発 **川崎 晋** (独)農業・食品産業技術総合研究機構　食品総合研究所
	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　特別賞
第 2 回 (平成 22 年度)	魚介類アレルゲンの同定と分子生物学的性状の解明ならびに検査法開発に関する研究 **塩見　一雄** 国立大学法人　東京海洋大学　教授	食と環境の難分解性環境汚染物質の長期モニタリング **小泉　昭夫** 京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野教授
	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　功労賞
第 3 回 (平成 24 年度)	マイコトキシンの毒性発現機序ならびに健康リスク評価に関する研究 **小西　良子** 国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部部長	シックハウス症候群、化学物質過敏症および関連疾患の診断、治療、疫学、対策に関する研究 **石川　哲** 元北里大学医学部長、元日本臨床環境医学会理事長、北里大学名誉教授
	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　奨励賞
第 4 回 (平成 26 年度)	環境疫学手法による PM2.5 等の大気汚染物質の健康影響の評価に関する研究 **新田 裕史** 独立行政法人国立環境研究所環境健康研究センター　センター長	real-time on-site モニタリングによる生活環境における衛生微生物学的安全の確保 **山口 進康** 大阪大学　大学院薬学研究科　衛生・微生物学分野　准教授
	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　山田和江賞
第 5 回 (平成 28 年度)	オーダーメイドで飲用水の安全性を評価できる技術の開発と実践 **加藤 昌志** 名古屋大学大学院医学系研究科　環境労働衛生学　教授	福島第一原子力発電所事故による食品・環境からの放射線被ばくのリスク評価 **原田 浩二** 京都大学医学研究科　環境衛生学分野　准教授
	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　山田和江賞
第 6 回 （平成 30 年度）	水環境における薬剤耐性菌・耐性遺伝子の公衆衛生学的研究 **鈴木　聡** 愛媛大学沿岸環境科学研究センター　教授	食品からのエピジェネティック変異原性の検出：酵母凝集反応を指標とした新規毒性試験法の開発 **杉山　圭一** 国立医薬品食品衛生研究所　安全性生物試験研究センター　変異遺伝部　室長
	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　山田和江賞
第 7 回 （令和 2 年度）	大気汚染物質、環境化学物質によるアレルギー悪化メカニズムの解明と悪化影響スクリーニング法の開発 **高野 裕久** 京都大学大学院　地球環境学堂　地球益学廊長、環境健康科学論分野　教授	水中病原ウイルスの浄水処理性の詳細把握とウイルス処理に有効な浄水技術の新規開発 **白崎 伸隆** 北海道大学　大学院工学研究院　環境工学部門　准教授

健康予防医療賞

	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　特別賞
第 1 回 （平成 21 年度）	高齢者の生活機能の維持・向上と介護予防を目的とした包括的健診の開発と普及についての調査研究―超高齢社会における新たな健康維持と予防医療へ向けての科学的取組み― **鈴木　隆雄** 国立長寿医療センター研究所　所長	国際標準化を通じた国内臨床検査室の脂質測定精度の向上とその臨床研究･疫学研究・公衆衛生施策への応用 **中村　雅一** 大阪府立健康科学センター 脂質基準分析室　室長
	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　特別記念賞
第 2 回 （平成 23 年度）	骨粗鬆症診療体制の確立にむけての臨床疫学コホートの構築（Nagano Cohort 研究） **白木　正孝** 成人病診療研究所　所長	生活習慣病の時代的変遷およびその現状と課題に関する疫学調査（久山町研究） **久山町研究グループ** 代表：清原　裕（九州大学大学院医学研究院　環境医学分野教授）
	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　特別賞・奨励賞
第 3 回 （平成 25 年度）	医療費評価を通じた医療保険者の保健事業の質向上に関する研究 **岡山　明** 公益財団法人　結核予防会第一健康相談所　所長、生活習慣病予防研究センター長	≪特別賞≫ 日本人の糖尿病診断基準に関する疫学研究－ブドウ糖負荷試験の経年観察データに基づく－ **伊藤　千賀子** 医療法人グランドタワー　メディカルコート理事長 ≪奨励賞≫ 感染症流行のリアルタイム分析と疫学動態の定量化 **西浦　博** 東京大学大学院　医学系研究科　国際保健学　専攻国際保健政策学　准教授
	遠山椿吉賞	遠山椿吉記念　山田和江賞
第 4 回 （平成 27 年度）	地域住民コホートにおける糖尿病の大規模疫学研究―　糖尿病の実態把握とリスクアセスメントによる予防指針確立のための調査・解析― **野田　光彦** 国立国際医療研究センター糖尿病研究部長	本邦への小児細菌性髄膜炎予防ワクチンの導入と普及に関する研究 **石和田　稔彦** 千葉大学　真菌医学研究センター 感染症制御分野　准教授
	遠山椿吉賞	遠山椿吉記念　山田和江賞
第 5 回 （平成 29 年度）	健康寿命の延伸に向けた疫学研究と政策提言 **辻　一郎** 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野　教授	地域在住高齢者の健康長寿を規定する要因を疫学研究によって明らかにする **冨岡　公子** 奈良県立医科大学県民健康増進支援センター　特任准教授
	遠山椿吉賞	遠山椿吉記念　山田和江賞
第 6 回 （令和元年度）	本邦における子宮頸がん動向調査と HPV ワクチン接種の効果の解析 **上田　豊** 大阪大学大学院医学系研究科　産科学婦人科学講師	保育園・幼稚園に通っていない子どもの社会・経済・健康面の特徴 **可知　悠子** 北里大学医学部公衆衛生学単位　講師
	遠山椿吉賞	遠山椿吉記念　山田和江賞
第 7 回 （令和 3 年度）	フレイル予防を軸とした新しい介護予防実現のための官民協働システム構築 **飯島　勝矢** 東京大学高齢社会総合研究機構　機構長・未来ビジョン研究センター　教授	該当者なし